



## 感染症

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3516	<b>CRP(定量)</b> 5C070-0000-023-062	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	16 免疫	LA	0.30以下 mg/dL		<b>【高値】</b> 炎症性疾患・心筋梗塞 感染症・悪性腫瘍・自己免疫性疾患
2396	<b>高感度CRP</b>	血清 0.5	1	冷蔵	3~7		ネフェロメリー	1500以下 ng/mL		<b>【高値】</b> 動脈硬化症・血栓症 クラミドフィラ・ニューモニイ感染症 炎症性疾患
3515	<b>ASO</b> (抗ストレプトリジノ) 5E035-0000-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~3	15 免疫	LA	160以下 U/mL		<b>【高値】</b> 溶連菌感染・リウマチ熱 急性糸球体腎炎・猩紅熱・肝炎
3518	<b>ASK(半定量)</b> (抗ストレプトキナーゼ) 5E036-0000-023-117	血清 0.2	1	冷蔵	3~4	29 免疫	PA	1280以下 倍		<b>【高値】</b> 溶連菌感染症
3520	<b>寒冷凝集反応</b> 5E105-0000-023-102	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	11 免疫	HA	64未満 倍		<b>【高値】</b> 発作性寒冷血色素尿症 伝染性単核症・悪性リンパ腫 溶血性貧血・レイノー症候群 マイコプラズマ肺炎
3565	<b>(1→3)β-D-グルカン</b> 5E151-0000-019-271	ヘパリン 血液 2.0	5 6 (専用)	血液 冷蔵	3~5	207 免疫	発色合成基質法	20.0以下 pg/mL	<b>【偽陽性】</b> 溶血・透析でのセルロース膜使 用者・アルブミン・グロブリン製剤 投与・多発性骨髄腫・サルファ剤 など	<b>【高値】</b> 深在性真菌感染症 ニューモシス肺炎
3859	<b>エンドトキシン定量</b> 5E046-0000-019-297	ヘパリン 血液 2.0	5 6 (専用)	血液 冷蔵	3~5	243 免疫	比濁時間分析法 (エンドスペー法)	1.0以下 pg/mL		<b>【高値】</b> グラム陰性菌感染症 敗血症・炎症性疾患・多臓器不全
9664	<b>透析液中エンドキシン定量</b> 5E048-0000-095-271	透析液 5.0	5 7 (専用)	冷蔵	3~5		発色合成基質法	EU/mL		<b>【高値】</b> グラム陰性菌感染症
2741	<b>プロカルシトニン (PCT)</b> 5C215-0000-023-053	血清 0.4	1	絶凍	4~6	292 生化I	ECLIA	0.05以下 ng/mL	敗血症 (細菌性) 鑑別診断のカットオフ値: 0.50ng / mL未満 敗血症 (細菌性) 重症度判定のカットオフ値: 2.00ng / mL以上	<b>【高値】</b> 敗血症 重症の細菌・真菌・寄生虫感染症

※(1→3)-β-D-グルカンは、深在性真菌感染症が疑われる患者に対する治療法の選択又は深在性真菌感染症に対する治療効果の判定に使用した場合に算定する。  
なお、本検査をカンジダ抗原定性、クリプトコックス抗原定性又はアスペルギルス抗原と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※プロカルシトニン(PCT)は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できる。  
ただし、エンドトキシン検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。